

特別史跡加曽利貝塚の解明に向けた更なる発掘調査を実施します！ ～本格調査第3弾！縄文時代晩期の大型住居跡の全貌解明を目指して～

千葉市では、貝塚として日本初の特別史跡に指定された加曽利貝塚において、半世紀ぶりとなる本格的な発掘調査を平成29年度から行っています。

これまでの調査では、縄文時代晩期の竪穴住居跡から、石剣や耳飾りなど貴重な遺物が見つかるとともに、直径12mを超える大型住居跡の存在が明らかになりました。

このたび、本格調査第3弾として、全貌解明に向けた更なる発掘調査を6月25日（火）から実施しますので、お知らせします。

1 趣旨・目的

平成29年3月に、これまでの加曽利貝塚の発掘調査の成果を取りまとめた『史跡加曽利貝塚総括報告書』を刊行し、遺跡の全体像を示すことができた一方、集落と貝層の変遷の把握をはじめ、解明すべき新たな課題も明らかになった。

そこで、本市では加曽利貝塚の構造や形成過程などを解明するため、発掘調査を実施していくこととした。

令和元年度は、平成30年度に確認した大型住居跡と未調査の竪穴住居跡を調べ、加曽利貝塚の集落の終末期の様相の解明を目指す。また、大型住居跡は儀礼に関わる特殊な遺物が出土することが多く、昨年度見つかった土製耳飾り、石剣に続き、新たな発見が期待される。

2 実施概要

(1) 調査期間

令和元年6月25日（火）～12月上旬

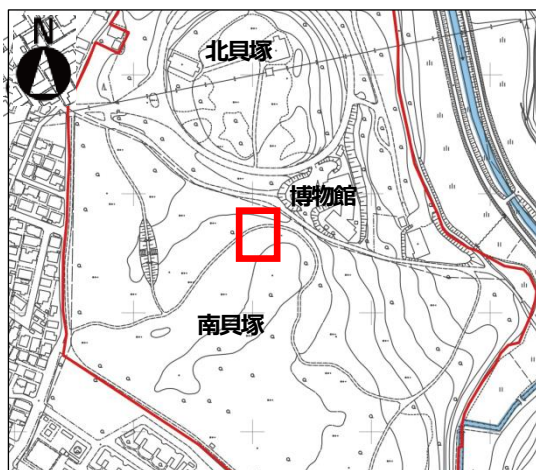
※日・月曜日・祝日は調査休止。


雨天の場合も同様。

(2) 調査場所（※詳細は別添「令和元年度調査計画図」を参照）

特別史跡加曽利貝塚 南貝塚 700㎡（東西25m×南北28m）

※平成29、30年度発掘調査地点を含む



※  …… 発掘調査実施場所

(3) 調査地点

- ア 25m×28mの範囲の遺構分布状況の確認と一部発掘
- イ 範囲内に含まれる昭和39年調査トレンチの再発掘

(4) 調査工程 (予定)

- ア 準備作業 6月 3日 (月) ~
- イ 調査開始 6月25日 (火) ~
- ウ 昭和39年調査トレンチ発掘 7月上旬~
- エ 排出土のふるいがけ作業 7月上旬~
- オ 大型住居跡の調査 7月下旬~
- カ 現地説明会 11月30日 (土)
- キ 記録作業等の終了 12月 7日 (土)
- ク 埋戻し 12月10日 (火) ~
- ケ 撤去作業 12月17日 (火)

(5) 調査実施機関

千葉県埋蔵文化財調査センター

発掘担当者 (職員) 2名・発掘調査員2名・作業員11名 計15名体制

※今年度は新たに非常勤の発掘調査員を2名雇用し、発掘担当者を補助する。

3 見学者への対応

発掘調査に関して広く知っていただくため、現地で説明会などを開催する。

(1) 発掘担当者による現地ガイド

ア 開催日時

調査期間中における発掘実施日の14:00~14:15

※調査休止日、雨天中止の場合を除く。

イ 内 容

調査成果の説明

※このほか、加曽利貝塚博物館開館日にはボランティアによる園内ガイドを随時行っています。

(2) ふるいがけ体験

実際の発掘で出た土のふるいがけ体験ができます。申込不要。当日直接、発掘現場へ。

ア 開催日時

7月13日 (土) ~調査期間中の土曜日 14:15~15:00

※調査休止日、雨天中止の場合を除く。

イ 内 容

土の中に含まれている細かい土器や石器などを探す。

(3) 現地説明会 (令和元年度調査成果の速報)

ア 開催日時

11月30日 (土)

①10:00~12:00

②13:00~15:30

※午前・午後の2回実施

イ 内 容

- ・調査の目的、概要の説明
- ・調査成果の説明
- ・出土資料の展示、説明

4 情報発信

ホームページ及び現地掲示板で情報を発信する。

(1) 加曽利貝塚博物館ホームページ（※随時更新）

「発掘調査日誌」ページにより、日々の発掘調査の様子を発信する。

(2) 現地掲示板（※毎週更新）

ア 設置場所

発掘調査地点脇

イ 掲示内容

- ・発掘調査の目的、概要
- ・前週までの調査成果
- ・今週の調査予定

5 報道機関向け現地レクチャー等の開催

各種調査工程等のタイミングで、現地において報道機関向けのレクチャー等を開催する。

(1) スケジュール

日 時	工程等	内 容
6月25日(火) 14:00～	調査開始	発掘調査の概要を説明します。
11月27日(水) 11:00～	現地説明会開催前	現地説明会の見どころを説明します。

(2) 取材申込等

現地でのレクチャー等に参加を希望される方は、各実施日の10:00までに文化財課（電話245-5960）へ事前にご連絡ください。

※レクチャー当日は、加曽利貝塚博物館入口に集合ください。

(3) その他

現地説明会の詳細は、11月上旬頃に別途お知らせします。

<参考>加曾利貝塚における過去の主な発掘調査

加曾利貝塚の史跡指定地内での発掘調査は平成26年度にも実施しているが、史跡の内容確認を目的とした本格的な発掘調査は昭和47年以来、半世紀ぶり（45年ぶり）となる。

昭和37年	北貝塚東側貝層部2か所の確認調査 (加曾利貝塚の重要性を確認し、保存運動を推進するための調査) ※堅穴住居跡や人骨を発見し、北貝塚が縄文中期～後期の集落であることを確認。
昭和39年	南貝塚の貝層部全体を対象とした確認調査 (保存運動を推進するための確認調査) ※南貝塚が馬蹄形の形であることを確認したほか、住居跡や埋葬人骨を発見し、南貝塚が縄文時代晩期の遺構であることを確認。
昭和40～43年	北貝塚の公園整備、博物館整備に伴う事前調査 (北貝塚貝層断面観覧施設、住居跡群観覧施設、旧大須賀家住宅移築などの整備に伴う調査)
昭和45～47年	市立老人ホーム建設に伴う予備調査 (南貝塚東側傾斜面一帯の遺構を確認するための確認調査) ※縄文前期～後期の住居跡などを発見し、傾斜面一帯も縄文集落であったことを確認したほか、坂月川に面する東側傾斜面先端を船着場と推定。
平成元～2年	史跡整備に伴う事前調査 (南貝塚貝層断面観覧施設、復元集落などの整備に伴う確認調査)
平成24・26年	加曾利貝塚限界確認調査 (史跡の範囲を確認するための調査) ※史跡北側の集落の広がりを確認。これを基に平成28年度に追加指定申請。
平成29年～	加曾利貝塚の構造や形成過程解明のための調査 (南貝塚、縄文時代晩期の遺構を中心とする発掘調査)